

ご自由にお持ち下さい

きらめき



独立行政法人 地域医療機能推進機構
福岡ゆたか中央病院 広報誌

ハーベスト
Harvest

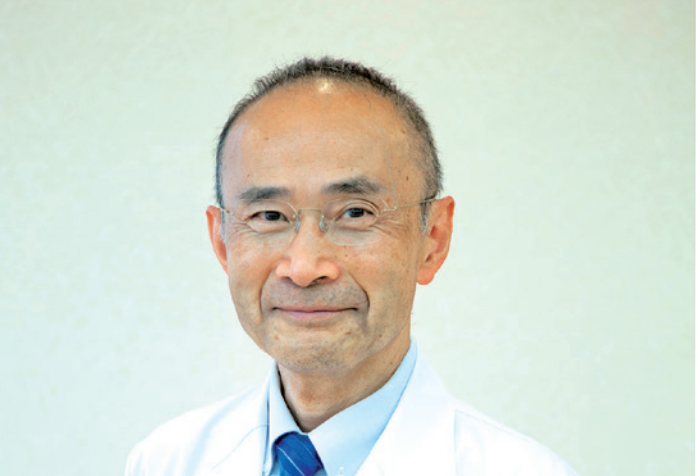
2022

June
vol.5



INDEX

病院長の挨拶	1
事務長の挨拶	2
当院の外科紹介	3
新任医師紹介	5
レシピ紹介	6
医師外来診療担当表	7



病院長

まつもと たかひろ
松本 高宏

皆さん、こんにちは。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に翻弄される日々が2年以上続いています。

当院でも発熱外来の設置や陽性患者の受け入れなど、行政や医師会と緊密に連携し地域密着型病院として力を入れております。その中で、昨年2月に院内集団感染(クラスター)が発生し、地域の皆さんや近隣の医療機関に大変なご心配、ご迷惑をおかけしました。その際には色々な方面からの心のこもったご支援、ご配慮をいただき誠にありがとうございました。

院内でも、クラスター発生の際、初めての事態にもかかわらず、職員一人ひとり自分がやるべきことは何かを考えて自律的に行動してくれました。クラスター早期終息という1つの方向に向かって一致団結してくれる様子は病院長として大変頼もしく思えました。すべての職員の気持ちを「全集中」することが病院の大きなエネルギーになると身に沁みました。

このパワーでこれからもこの地域で必要とされる安心・安全な医療を実践するとともに、地域の皆さんの健康保持、疾病予防にこれまで通り力を入れ、健やかな生活が継続できる地域づくりに貢献していきたいと思えます。

新型コロナウイルスは一旦収束するかに見えても、変異を繰り返して再びこれまで以上のスピードで拡大しています。幸い重症化率は低いようですが感染者数が増大するとまた医療逼迫の可能性がります。ワクチンの3~4回目接種も次々に出現する変異ウイルスに対しては、その効果は限定的と考えた方が良いでしょう。今後は、強力で副作用の少ない治療薬の開発・供給が感染収束の切り札として期待されますが、いつ頃そうなるのか予想できていません。これからもマスク着用、手洗いの励行、ウィズコロナの新しい生活様式(密閉、密集、密接のいわゆる3密を避け、ソーシャル・ディスタンスを確保するなど)を続けて感染予防に努めることが大切です。当院では、すべての職員を守り院内感染を予防し、医療機能を維持することが地域社会への貢献につながると考えています。そのため地域の皆さんにはこれからもご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解の程何とぞよろしくお願いいたします。

今年こそは、地域連携の集いや健康フェア等の地域貢献活動が再開でき、皆さんと顔を合わせお話ができることを願っています。今後とも、職員一同皆さんの貴重なご意見を拝聴し、地域全体のお役に少しでも立てればと考えております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



事務長

ふく だ しん や
福田 信也

令和4年4月に国立病院機構熊本南病院より事務長としてまいりました福田と申します。

4月に入ると暖かい日が続き、桜も満開になり、新緑の香りが清々しい季節となりました。

さて、福岡県において新型コロナウイルスは、3月6日に「まん延防止等重点措置」の解除、4月7日には「感染再拡大防止対策期間」が終了しました。

昨年度は、何度もまん延防止等重点措置の適用と解除が繰り返され、コロナ一色の1年となってしまいました。その中で、職員の皆様は、新型コロナウイルスに対して一人一人の基本的な感染防止対策を取りながら、直轄医療圏の新型コロナウイルスの感染対策にもご尽力いただき、大変感謝しております。これからは、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る「ウイズコロナ」に向けて進めていかなければなりません。

その中で、当院の運営におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に大きく左右され、患者数の減少と健診活動の縮小など本来の当院の医療が行えない状況でした。

そのような状況下ではありますが、令和3年度の経常収支率は100%を上回り黒字達成の状況となっております。こちらについても職員の皆様のご尽力の賜物と考えております。ありがとうございました。

今年度は、感染縮小に向かうであろう(願望です。)新型コロナウイルスとも共存しながら、当院の理念である「理想的な地域包括ケアを実現することで、病む人と職員が幸せになり、地域社会が健やかに栄える病院を目指します。」を念頭において、地域の医療機関の皆様とも、より一層の連携を図り、直轄医療圏の地域医療に少しでも貢献したいと考えております。

事務部としても病院運営に対する情報発信にスピード感をもって努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副院長

まつ なり やす お
松成 康生

2021年10月にJCHO福岡ゆたか中央病院 副院長を拝命いたしました外科の松成 康生です。

日頃より、当院をご利用いただき誠にありがとうございます。また、地域の先生方におかれましても、大切な患者様をご紹介いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が流行し、2年以上経過しました。その間、当院も様々な対応や変化を求められ、全職員が事態を乗り越えるべく、誠心誠意対応して参りました。今後も松本 高宏病院長を中心とし、当院が地域で求められている役割を果たしていきたいと思っております。

さて、ここからは当院の外科の紹介をさせていただきます。

当科では、胃・大腸や肝胆膵といった消化器癌を中心に、乳癌、肺癌、甲状腺癌などの各臓器の癌に対して、手術や抗癌剤治療を行っております。また、放射線療法も近隣の病院と連携して行っており、集学的治療により癌の根治や制御を目指しています。

わが母教室(九大第一外科)は全国的にも先んじて内視鏡手術に取り組んできました。

当科に於いても、食道癌、胃癌、大腸癌といった消化管の癌に対しては、ほぼ全例が内視鏡下(腹腔鏡・胸腔鏡下)手術となっています。

高画質の腹腔鏡手術により、精緻で体に優しい出血の少ない手術が行えています。

また、胆石やヘルニア、急性虫垂炎などの良性疾患に対しても、その殆どを腹腔鏡手術で対応しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行で手術件数自体が大きく減少したため、鏡視下手術件数も減少しました。2021年度は例年ほどの手術件数に回復はしていませんが、鏡視下での手術件数はさらに多くなっています。

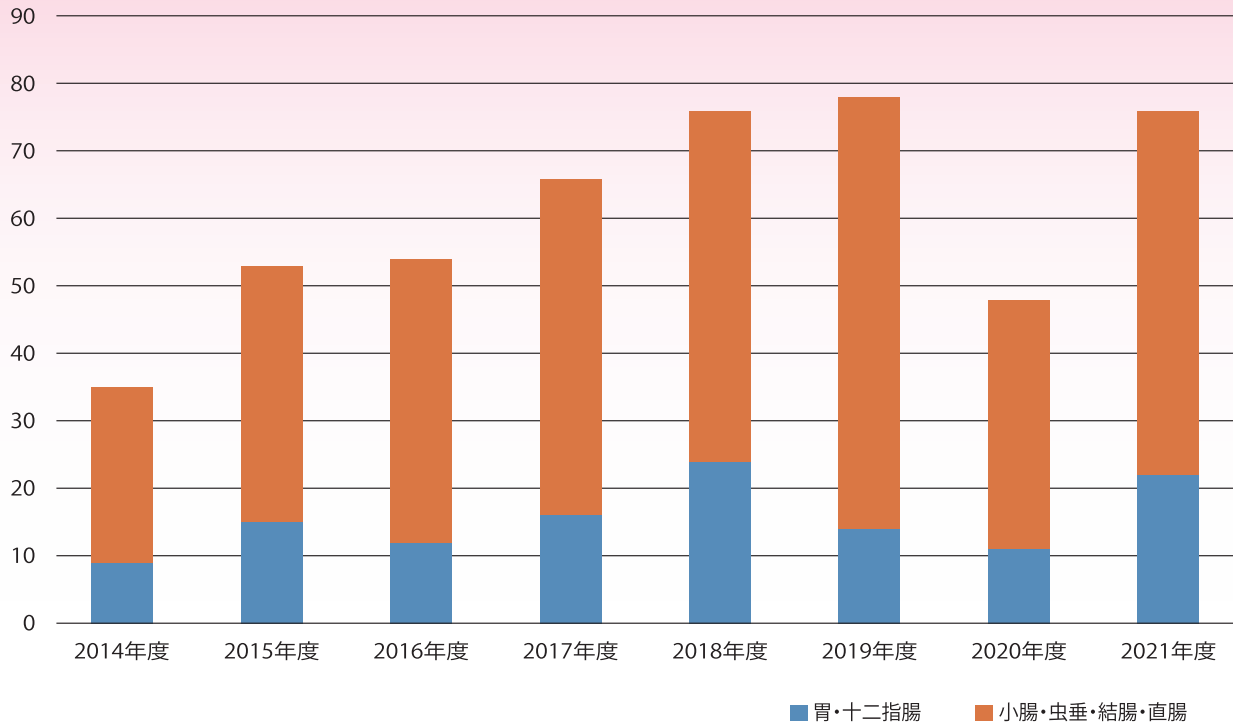
手術以外にも、胆道疾患、膵疾患に対するERCPなどの精査、切石やドレナージといった処置・治療も当科で継続して行っています。

全国的な外科医の減少に伴い、当院でも人員が削減され少人数での対応を余儀なくされていますが、“胆石発作”“腸閉塞”“消化管穿孔”“腹膜炎”などの緊急処置・手術を要する疾患も積極的に受け入れ、地域の方々が地元で安心して療養が出来るように日夜奮闘しております。

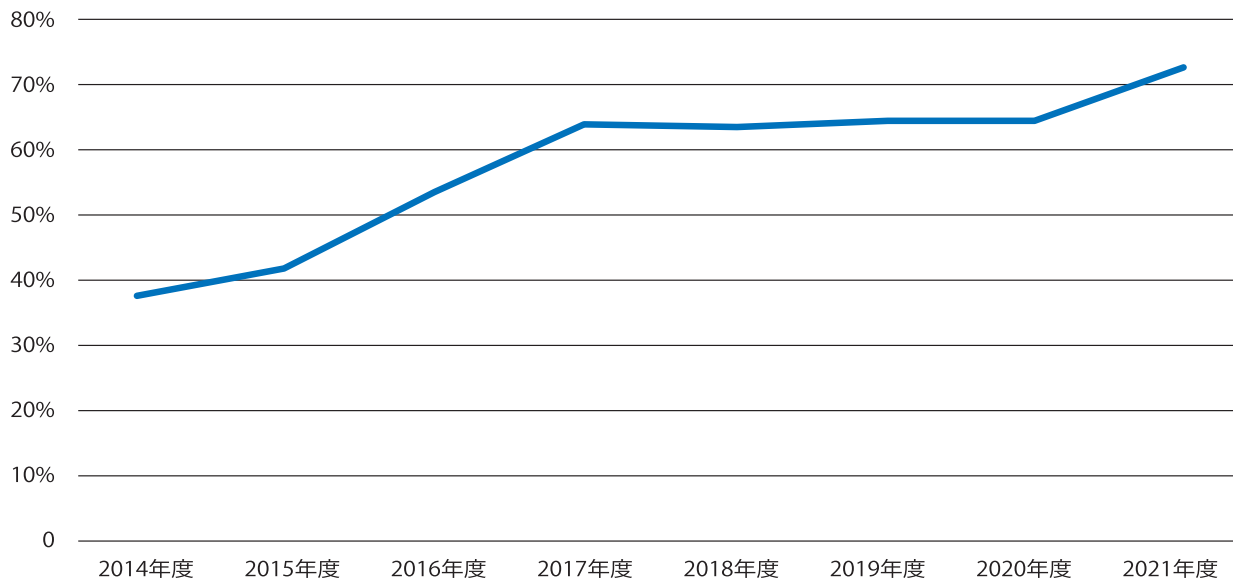
最後になりましたが、入院患者様そしてご家族様におかれましては面会禁止期間が長期にわたり、大変ご不便・ご迷惑をおかけしております。今しばらくの間、ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。これからも地域の皆様の健康をお守りできるよう、地域密着型の外科診療を継続して参ります。お困りの患者様がいらっしゃいましたら是非当科をご利用、ご紹介下さい。

今後ともご指導・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

胃・大腸 鏡視下手術件数の推移



鏡視下手術割合の推移



外科 スタッフ 紹介



部長
ふじた はやと
藤田 逸人



医員
なかやま かずのり
中山 和典



医員
まつもと そういち
松本 奏吉

新任医師紹介



内科医師

にかいどう やすひこ

二階堂 靖彦

2022年4月から赴任しました、二階堂 靖彦と申します。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科医師

さくらい ゆうこ

櫻井 優子

2020年度にこちらの病院で勤務させていただき、今回戻って参りました。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科医師

かい たかひろ

甲斐 貴大

4月より赴任しました、消化器内科の甲斐 貴大と申します。直方の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



消化器内科医師

すぎの あやこ

杉野 絢子

苦痛のない内視鏡検査を心がけ、診療に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



麻酔科部長

のぐち たかし

野口 貴志

安全な手術が行われるように努力して参ります。

さっぱり夏みかんゼリー

患者様にお食事を楽しみにして頂けるよう、また季節を感じて頂くため、当院のリハビリ庭園で栽培している夏みかんをデザートとして提供させて頂きました。次回7.8月には、当院栽培のブルーベリーを使用したデザートを提供予定です。

・栄養素(1個分)・

エネルギー	105kcal
蛋白質	2.3g
脂質	2.4g
炭水化物	5.7g

材料(2個分)

夏みかん	1個(皮がついた状態で300-350g)(果肉4房、残り果汁用)
果肉	4房
砂糖	大さじ1
水	適量
粉ゼラチン	4g
冷水(ふやかす用)	40g
絞り果汁	50ml
水	適量
砂糖	大さじ1
ホイップクリーム	6g程度
ミント	適量

ポイント① 粉ゼラチンをふやかす際はかならず先に水を入れて、粉ゼラチンを「振り入れて」下さい。また、ふやかす水は冷水を使用すると、舌ざわりがなめらかに仕上がります。

ポイント② 生の果実や果汁は、粉ゼラチンを分解する酵素を含んでいます。そのまま使うと固まりにくいいため、短時間加熱をするか、加熱が難しい場合は缶詰の果肉を使用することをおすすめします。

ポイント③ 60℃程度は沸騰し始めて泡が立ち始めた頃です。粉ゼラチン液は沸騰温度で溶かすと固まりにくくなります。

作り方

- 夏みかんの皮を剥き、一房ずつに分けて薄皮を剥き、種を取り除きます。(皮が厚くて手では剥きにくいので、包丁やナイフで浅く十字に切り込みを入れて剥くのがおすすめです。)
- 果肉用をとり、残りで果汁を50mlとります。
- ボウルに冷水を入れて、粉ゼラチンを振り入れ、ダマにならないように混ぜ合わせてラップをし、冷蔵庫で10分置きます。
- ②でとっておいた果肉用の夏みかんを鍋に入れて、砂糖と水を少し浸る程度に入れ、3分ほど中火で煮ます。煮汁は残しておき、果肉を別皿に取り出しておきます。
- ④の煮汁(好みで)と、②の絞り果汁を計量カップに入れて、水を足して合計160mlになるようにします。
- 鍋に⑤と砂糖を入れ、中火で混ぜながら加熱し60℃程度になったら火を止めて、鍋に③のふやかした粉ゼラチンを入れて混ぜ合わせます。粉ゼラチンが溶けたら、粗熱をとります。
- 容器に⑥を注いで④で煮た果肉を入れ、冷蔵庫で2~3時間冷やし固めます。
- ホイップクリームとミントを添えて出来上がりです。

夏みかんの栄養

夏みかんの甘酸っぱい正体は「クエン酸」です。クエン酸には体内の酸性物質を減少させる効果や疲労回復効果があります。さらに骨粗鬆症予防にも効果的です。



初めて受診される患者さまへ

当院に初めて受診される患者さまは、以下の医師がまず診察いたします。(緊急の場合を除く)
次回より専門医が診察しますので、ご了承ください。
午後は救急当番医が診察します。

月 櫻井 **火** 中塚・杉野 **水** 重藤・櫻井または篠崎
木 甲斐・篠崎 **金** 山本宜・二階堂

ご予約の方へ ☎0949-26-2311(代表)

予約のお電話は、月曜日から金曜日の**13:00~17:00**で受け付けております。

明日の予約および明日への予約変更は、**前日14:00まで**となっています。

※午前中および土・日・祝祭日の電話予約は受け付けておりませんのでご了承ください。

※初診の方はおよび前回診察から3か月以上経った方はご予約できませんのでご了承ください。

医師外来診療担当表

☎.0949-26-2311

令和4年5月現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	高血圧 心臓病	松本高宏 重藤由行	松本高宏	重藤由行 新患当番	松本高宏 重藤由行 宮田健二	重藤由行
	胃・腸	田畑寿彦	杉野絢子 新患当番 大野真由美 第2・4午後のみ	甲斐貴大	甲斐貴大 新患当番	杉野絢子
	リウマチ 膠原病	中塚敬輔	中塚敬輔 新患当番 12:30~ 2名 線維筋痛 症状患者のみ	中塚敬輔		田中良哉 第2のみ 中塚敬輔 第2以外
	甲状腺・内分泌					齋藤桃 予約のみ
	糖尿病		藤井秀幸 予約のみ	坂上雄紀 予約のみ		藤井秀幸 午後予約のみ
	一般内科	二階堂靖彦	二階堂靖彦	宮田寛子		二階堂靖彦 新患当番
	もの忘れ外来				榊佑介 予約のみ	
呼吸器科	篠崎聖児 櫻井優子 新患当番	山本宣男	山本宣男 篠崎聖児 第2・4のみ 櫻井優子 第1・3・5のみ	篠崎聖児 新患当番 宮崎直樹	櫻井優子	
外科	肝胆膵・消化器・肛門 乳腺・甲状腺・呼吸器	藤田逸人	松成康生 中山和典	松本奏吉	藤田逸人 中山和典	松成康生 松本奏吉
	乳腺外科		林早織 予約のみ			
	呼吸器外科			生田安司 第1・3・5のみ 中村勝也 第2・4のみ		
皮膚科	午後のみ	七森光				佐々木奈津子
整形外科	友弘慎一	友弘慎一	友弘慎一	縄田知也	友弘慎一	
眼科	要紹介状	向坂親蔵	向坂親蔵		向坂親蔵	向坂親蔵

外来診療受付時間 8:30~11:30(皮膚科は13:30~16:00) / 眼科初診は10:00まで